

令和 5 年 度

事業計画書



社会福祉法人 聖風会

社会福祉法人の定義

社会福祉法人聖風会は、社会福祉法人とは、以下のような存在でなければならないと考えています。

- 一、社会福祉法人は、質の高いサービスの提供と、その担い手である人材の育成を行い続けなければならない。
- 一、社会福祉法人は、事業継続のために必要な収益を確保しながらも、非営利の姿勢を貫かなければならない。
- 一、社会福祉法人は、地域の中の存在として、常に地域との連携を図り、地域住民の生活を支援しなければならない。
- 一、社会福祉法人は、制度の有無にかかわらず、すべての社会的弱者を積極的に受け入れ、手を差しのべ、社会に安心を提供しなければならない。

法 人 理 念

最高に価値あるものをすべての人に
～地域に信頼される施設を目指して～

経 営 理 念

< 私たちが目標とすること >

- ☆地域に貢献する総合福祉事業の展開
- ☆卓越したケアサービスによる顧客満足
- ☆効果・効率を考えた弛まぬ業務改善

運 営 理 念

< 私たちが大切にしていること >

- ☆相手の立場で見る・聴く・考える
- ☆相手の笑顔・自分の笑顔
- ☆その人がその人らしく生きること

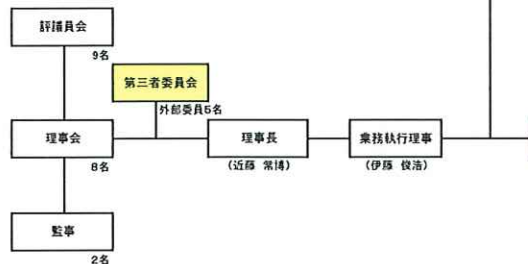
目 次

社会福祉法人聖風会	・ ・ ・ ・ ・	1
足 立 部 門	・ ・ ・ ・ ・	1 9
扇 部 門	・ ・ ・ ・ ・	2 5
六 月 部 門	・ ・ ・ ・ ・	3 3
千 住 部 門	・ ・ ・ ・ ・	4 3
花 畑 部 門	・ ・ ・ ・ ・	5 1
荒 川 部 門	・ ・ ・ ・ ・	5 8
荒川部門単独事業所	・ ・ ・ ・ ・	6 4
台 東 部 門	・ ・ ・ ・ ・	7 1

社会福祉法人 聖風会 組織図

定員(法人全体)	数	定員
特養	7	736人
短期入所	7	85人
通所介護(認知含む)	12	290人
グループホーム	1	18人
ケアハウス	1	80人
居宅介護支援	3	
ヘルパーステーション	2	
地域包括支援センター	6	

* 39事業



施設長会議
⇒理事長・業務執行理事・各部門の施設長、センター長で構成
合同施設長会議
⇒上記メンバー及びホーム長・センター長で構成

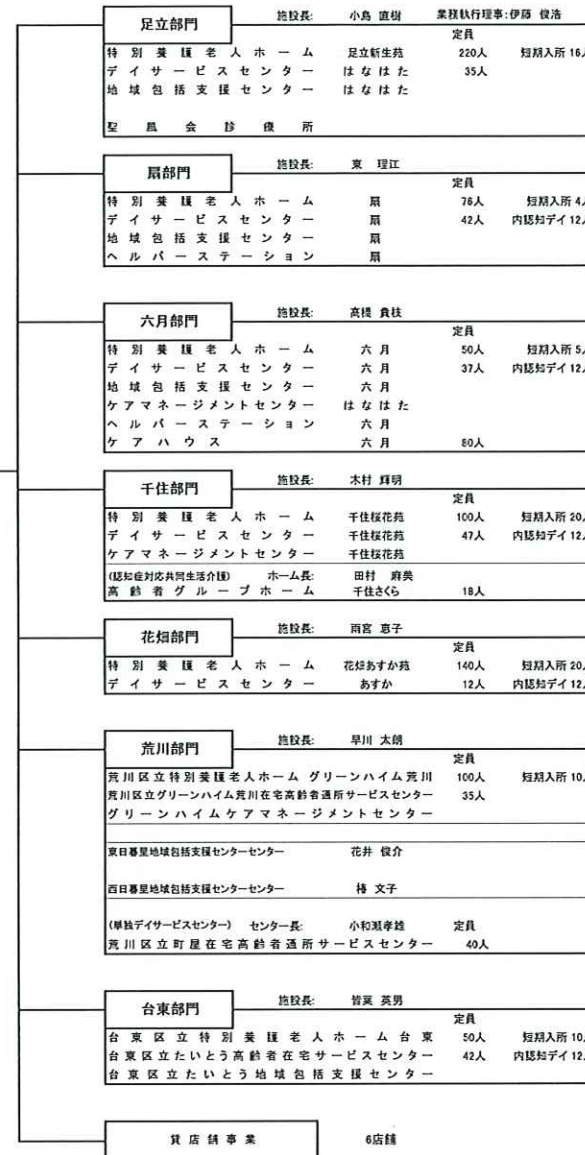
第三者委員会
⇒苦情解決に当たって公正中立を確保するために設けられた第三者からなる委員会。
⇒弁護士、学識経験者、地域の代表で構成。

リスクマネジメントは各委員会の中で対応

- 人事管理**
 - * 募集・採用事務に関すること
 - * 新人事制度の運用に関すること
 - * 人材育成、職員研修等に関すること その他
- 財務・会計管理**
 - * 法人の財務・会計に関すること
 - * 各事業所の収支管理に関すること
 - * 各事業所の経理事務のサポートに関すること
 - * 給与事務に関すること
 - * 社会保険事務に関すること
 - * 退職事務に関すること
- 施設管理**
 - * 建物・設備の維持管理に関すること
 - * 省エネに関すること
 - * 営繕職員のサポートに関すること
 - * 防災指導に関すること
 - * 事務処理のOA化に関すること
 - * 個人情報保護に関すること
 - * バイオコン指導に関すること その他
- サービス管理**
 - * 介護サービスの向上に関すること
 - * 利用者との契約に関すること
 - * リスクマネジメントに関すること
 - * 第三者委員会および苦情処理に関すること
 - * 第三者評価に関すること その他

- 経理委員会** 各部門の経理課責任者及び法人事務局担当者で構成 (伊藤 俊浩)
- 生活サービス委員会** 各部門の生活サービス課長で構成 (小島 直樹)
- 介護委員会** 各部門の生活サービス係長で構成 (雨宮 恵子)
- 看護委員会** 各部門の看護係の責任者で構成 (雨宮 恵子)
- ショートステイ委員会** 各部門のショートステイ担当の責任者で構成 (木村 輝明)
- サービスセンター委員会** 各部門のデイサービスの責任者で構成 (高橋 貴枝)
- 地域包括支援センター委員会** 各部門の地域包括支援センターの責任者で構成 (高橋 貴枝)
- ケアマネ委員会** 各部門の居宅介護支援事業所の責任者で構成 (早川 太朗)
- ヘルパー委員会** 六月、居部門のヘルパーステーションの責任者で構成 (東 理江)
- 管理栄養士委員会** 各部門の管理栄養士で構成 (東 理江)
- 情報セキュリティ委員会** 各部門の情報セキュリティ委員及び管理課OA担当主任で構成 (東 理江)
- 法人プランニング委員会** 各部門の担当職員で構成 (小島 直樹)

※全ての統括委員会には必要に応じ理事長、理事が参加する。



足立部門	施設長: 小島 直樹	業務執行理事: 伊藤 俊浩
特別養護老人ホーム	足立新生苑	定員 220人 短期入所 16人
デイサービスセンター	はなはた	35人
地域包括支援センター	はなはた	
聖風会診療所		

居部門	施設長: 東 理江	定員
特別養護老人ホーム	居	76人 短期入所 4人
デイサービスセンター	居	42人 内認知デイ 12人
地域包括支援センター	居	
ヘルパーステーション	居	

六月部門	施設長: 高橋 貴枝	定員
特別養護老人ホーム	六月	50人 短期入所 5人
デイサービスセンター	六月	37人 内認知デイ 12人
地域包括支援センター	六月	
ケアマネージメントセンター	はなはた	
ヘルパーステーション	六月	
ケアハウス	六月	80人

千住部門	施設長: 木村 輝明	定員
特別養護老人ホーム	千住桜花苑	100人 短期入所 20人
デイサービスセンター	千住桜花苑	47人 内認知デイ 12人
ケアマネージメントセンター	千住桜花苑	
(認知症対応共同生活介護)	ホーム長: 田村 麻美	
高齢者グループホーム	千住さくら	18人

花畑部門	施設長: 雨宮 恵子	定員
特別養護老人ホーム	花畑あすか苑	140人 短期入所 20人
デイサービスセンター	あすか	12人 内認知デイ 12人

荒川部門	施設長: 早川 太朗	定員
荒川区立特別養護老人ホーム	グリーンハイム荒川	100人 短期入所 10人
荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター		35人
グリーンハイムケアマネージメントセンター		
東日暮里地域包括支援センターセンター	花井 俊介	
西日暮里地域包括支援センターセンター	椿 文子	
(単独デイサービスセンター)	センター長: 小和瀬孝雄	定員
荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター		40人

台東部門	施設長: 菅葉 英男	定員
台東区立特別養護老人ホーム	台東	50人 短期入所 10人
台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター		42人 内認知デイ 12人
台東区立たいとう地域包括支援センター		

売店併事業	6店舗
-------	-----

【本部事務局】

《人事 財務 会計管理》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	介護職のみならず、相談職の新卒採用を行う。また、各事業所に対し適材適所の人員配置が行えるよう、人事部の検討を開始する。	・新卒採用については、マイナビ等の媒体利用と並行し、関東近県の大学・養成校への営業。※50校営業 ・年度末では人事部案を策定		
②	10年後の法人継続を意識した財務管理を行う。 法人への繰入金・建物維持管理等については、各拠点と連携した管理体制を行う。	・各拠点の月次状況を把握し、課題のある事業所との検討会を実施。 ・各拠点への定期巡回により、資金運用管理を行う。		
③	計画的な基幹業務ソフトの切替え（令和8年6月に契約満了となる基幹業務ソフト）の検討を開始。	・基幹業務検討チームを9月までに立ち上げ、財務・給与・勤怠・グループウェアを見直す。		

《部門特記事項》

- ・指定更新後のグリーンハイム荒川の運営状況の確認と、今後の事業計画の見直し
- ・台東部門の指定管理期間について、5年度末を以て終了の場合、前期より終了に向けた支援を開始する。

《施設 サービス 管理》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	各事業所の総合防災力の維持強化を行う。	・前年度策定した防災諸規定類を運用すべく、総合防災力の維持強化を目的に各事業所最低1回のBCP訓練が行えるようサポートを行う。		
②	ライフサイクルコストを加味した設備機器における経済的な予防保全を行う。	・電気、ガス料金の高騰を踏まえ、省エネに繋がる設備機器の運用提案と改修提案を行う。		
③	足立区公設民営に於ける「工事負担金方式」の大規模改修工事計画の具現化を図る。	・区の事情により3年延期になっている「工事負担金方式」での大規模改修工事計画の再開に向け、六月と扇に於ける設備機器の中長期改修計画を作成する。		
④				

令和5年度

《年間予算表》 法人本部

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
他の社会福祉事業(法人本部)			86,621,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			86,621,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			16,574,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			54,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事務費支出			34,295,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0		0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0		0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			204,000			0.0%		0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			200,000		0	0.0%		0		0.0%	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			256,000			0.0%	0	0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****	0	0		****	****		0
長期貸付金支出			6,580,000			0.0%		0		0.0%	****		0
積立資産支出			9,622,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****	0	0		****	****		0
拠点区分間繰入金支出			0		0	****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			738,000		0	0.0%		0		0.0%	****		0
支出合計(2)			68,523,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			18,098,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			186,191,534										
当期末支払資金残高			204,289,534										

《特記事項》

※ 長期貸付金支出の内訳は、留学生への生活資金貸付金と奨学貸付金。

※ その他の活動による支出は、次年度採用予定者の借上住宅契約に係る敷金相当分（概算予定9名）

令和5年度

《年間予算表》 貸店舗

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
貸店舗		店舗6	16,058,000			0.0%		0		0.0%	****		0
収入合計(1)			16,058,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
人件費支出			3,500,000			0.0%		0		0.0%	****		0
事業費支出			0		0	****	0	0		****	****		0
事務費支出			1,476,000			0.0%		0		0.0%	****		0
利用者負担軽減額			0		0	****	0	0		****	****		0
支払利息支出			0		0	****	0	0		****	****		0
その他の支出			1,310,000		0	0.0%	0	0		0.0%	****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	****	0	0		****	****		0
固定資産取得支出			0		0	****	0	0		****	****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			39,000			0.0%		0		0.0%	****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****	0	0		****	****		0
長期貸付金支出			0		0	****	0	0		****	****		0
積立資産支出			0		0	****	0	0		****	****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0		****	****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	****	0	0		****	****		0
事業区分間繰入金支出			9,500,000			0.0%		0		0.0%	****		0
拠点区分間繰入金支出			0		0	****	0	0		****	****		0
その他の活動による支出			0		0	****		0		****	****		0
支出合計(2)			15,825,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
支出差額(1)-(2)			233,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	****	0	0
前期末支払資金残高			2,000,318										
当期末支払資金残高			2,233,318										

《特記事項》

※

※

【令和 5 年 職種別を中心とする横断委員会】

	名 称	責任者	開催日	時 間
1	総務委員会	伊藤俊浩	第 4 金曜日／月	15:30～18:00
2	生活サービス委員会	小島直樹	第 2 火曜日／毎月	15:00～18:00
2-1	・介護委員会	雨宮恵子	第 2 水曜日／奇数月	16:00～18:00
2-2	・看護委員会	雨宮恵子	第 3 月曜日／年 4 回（5 月/8 月/11 月/2 月開催）	16:00～18:00
2-3	・ショートステイ委員会	木村輝明	第 4 月曜日／年 2 回（4 月/10 月開催）	10:00～12:00
3	サービスセンター委員会	高橋貴枝	第 3 金曜日／月	16:00～18:00
4	地域包括支援センター委員会	高橋貴枝	第 1 金曜日／年 4 回（6 月/9 月/12 月/3 月開催）	9 : 30～12:00
5	ケアマネジャー委員会	早川太朗	第 1 金曜日／年 4 回（5 月/8 月/11 月/2 月開催）	16:00～18:00
6	ヘルパー委員会	東 理 江	第 4 月曜日／偶数月	10:00～12:00
7	管理栄養士委員会	東 理 江	第 4 水曜日／年 4 回（5 月/8 月/11 月/2 月開催）	15:30～17:30
8	情報セキュリティ委員会	東 理 江	第 3 木曜日／偶数月	16:30～18:00
9	ブランディング委員会	小島直樹	第 3 火曜日／月	14:00～18:00

【職種別横断委員会】

《総務委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	5 類変更による新型コロナウイルス感染症対策補助金について、情報収集を行い、対象となる補助金は遅延の無い申請手続きを行う。(補助金は全て活用する)	・東京都、各保険者からの補助金に関する情報収集をホームページとメールを中心に行い、各事業所に情報提供を行う。		
②	電気代、ガス代が前年比 1.5 倍、1.3 倍になることが予想されることから、光熱費の価格高騰額の確認と、電気会社変更について検討する。	・毎月の電気代、ガス代の価格確認を事業所毎に行い、委員会で取りまとめ、会社変更等の資料として施設長会議に提出する。		
③	令和6年度に向けた福利厚生制度の見直しについて、判断材料となる資料を作成し施設長会議に提案する。	・現在の福利厚生制度の利用状況や希望などの調査を実施。「リロクラブ」継続か、「ゆう」に変更か等について判断資料を作成する。		
④	基幹業務ソフトの切替え検討メンバーとして、法人事務局と連携を図る。	・基幹業務切替え検討チームの一員として、委員会メンバー数名を選出し、9 月以降から参加する。		

【職種別横断委員会】

《生活サービス委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令遵守。また、法人内サービスの質を管理し、支援技術の統一化、標準化を図る。	・各種指針管理と内部監査の実施。 ・「虐待防止マニュアル」の見直し。 ・「LIFE」関連加算の安定的算定とフィードバックの有効活用。		
②	福祉人材となる学生に対する学びの機会として、実習受入れを継続する。また、実習以外の方法にて養成校との連携強化を図る。	・新型コロナウイルス感染症を想定した実習プログラムの構築。 ・アウトリーチ活動のとして、授業の講師依頼などを積極的に受ける。		
③	外国人介護職員が不安なく着実に成長していくことが出来る様、法人本部と連携を図り支援する。	・グローバル採用職員の課題を共有し、研修や交流の場を設定、受け入れ方法の標準化をはかる。		
④	法人のブランド力強化、また、介護・福祉のイメージアップを図る為に、「WEBメディア」を通じ、積極的に情報を発信していく。	・エビデンスに基づいたケアの「実践」、「多職種連携」、「地域貢献」、「人材育成」等幅広いテーマで記事を展開する。		

【職種別横断委員会】

《介護委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人全体の基礎介護の統一を図る。	・ 新任職員へ基礎介護研修の企画、運営を行う。 ・ 研修資料の見直し。 ・ 部門間の基礎介護力の情報を共有し、研修内容に活用する。		
②	グローバル採用職員への育成支援の徹底を図る。	・ 緊急対応等のわかりやすいマニュアルの作成。 ・ 段階に応じた支援を生活サービス委員会と連携して行う。		
③	感染症予防の知識・技術の浸透。	・ 予防策の徹底を看護委員会と連携し、介護職・ケアサポーター職に行きわたるよう指導する。		
④				

【職種別横断委員会】

《看護委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	感染症予防の徹底を図る。	・「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための平常時の衛生管理」の点検作業を行い、内容を更新する。 ・発生時及び感染拡大予防の対応を、介護職と連携し、職員全体への知識・技術を指導する。		
②	看護業務の統一化、標準化を図る。	・マニュアルの定期確認。 ・情報交換による課題抽出と検討。 ・医療に関する研修講師及び統一した研修資料の点検を行う。		
③				

【職種別横断委員会】

《ショートステイ委員会》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	ショートステイ 7 部門の情報共有を図り、サービスの質の標準化と利用率向上を図る。	・年 2 回委員会を開催 (①4 月 ②10 月)。 ・各部門の運営状況を共有し、サービスの質の向上及び利用率の向上につなげる。		
		・部門間のつながりを強化し、利用者のニーズに法人として対応する。 ・本体の生活サービス委員会からのオーダーに対応する。		
		・各部門年 1 回の特養の内部監査における短期入所の項目に対応する。		

【職種別横断委員会】

《サービスセンター委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人内全通所介護事業所の利用率改善を図る。	・利用率向上計画シートを活用し課題を明確化する。 ・各事業所の相談員は課題や改善策を現場職員に発信、提案する。		
②	人材育成① 相談職のスキルアップを図る。	・委員会のメンバーは相談員としての課題を意識し改善に努める。 ・委員会は、メンバーの課題解決に向けた取組をサポートする。		
③	人材育成② 各職種のスキルアップを図る。	・委員会が中心となって、職種別の勉強会や研修を実施する。		
④	法人内通所介護事業所のサービスの標準化	・感染予防を図りながら、委員会が中心となって、事業所間交流やサービス提供方法等の助言、指導を行う。		

【職種別横断委員会】

《地域包括支援センター委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	人材育成 ・高齢者の総合相談窓口として 相談職のスキルアップを図る。	・各部門別の研修実施、継続。 ・介護、医療、生活等専門的な相談 対応に向けた研修の実施。 ・各部門の研修内容と課題の共有。		
②	介護保険制度改正の動向に応じた 地域状況の把握と情報共有。 法人内事業所間の連携を強化 在宅サービスとの連携強化	・地域資源とのネットワーク作り やその他各部門の事業内容、進捗状 況を共有し課題に対して助言、検討 を行う。		
③	指定管理事業所として法令や協定 内容を遵守する。	・予防プランの点検を実施し、支援 計画、帳票の不備が無いよう管理。 ・事業所としての評価基準につい て達成状況の把握と共有を行う。		
④	次世代の相談職育成 ・実習生の受入れ支援	・社会福祉士、看護師の実習を積極 的に受入れ情報を共有して、次の包 括専門職、相談職を育成し、職員採 用に結びつける。		

【職種別横断委員会】

《ケアマネジャー委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令を遵守し、健全な事業運営の推進を図る。	・委員による業務点検を全事業所に対し計画的に実施する。そこで得た情報を共有しつつ既存課題を抽出し、事業の質的向上を図る。		
②		・次年度の介護保険制度改正に向け、必要な情報を収集しつつ委員会にて確認、適宜検討を行う。		
③		・新人研修プログラムを効果的に活用しつつ、指導忘れが無いよう、プログラムに沿った育成指導を行う。		
⑤	主任介護支援専門員資格の取得を推進し、安定した事業運営を図る。	・各事業所 主任介護支援専門員 2名の体制が取れるよう、人材を丁寧に育てつつ、必要な支援を行う。		

【職種別横断委員会】

《ヘルパー委員会》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	適正な事業運営の継続	・法人内自主点検（人員や設備、運営、介護給付算定等の点検/年 1 回） ・労務状況の把握と改善。 ・適正なサービスの提供（訪問介護の手引きの見直し、作成と周知）。		
②	感染症や災害時に適切な対応が出来るよう、指針等の準備を行う。	・感染症指針の作成（法人）。 ・マニュアルの見直し及び作成（感染症、積雪、地震、台風、水害時等） ・BCP に基づく対応。		
③	人材確保・人材育成のための情報共有と研修を行う。	・人材の採用方法、施設・法人内調整等、法人内でも情報共有し人材確保に努める。 ・研修の実施（オンライン研修や各事業所内にでの研修・演習を実施） ・虐待防止に関する正しい理解、適切なケアに努める。		

【職種別横断委員会】

《管理栄養士委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	適正な基本サービスを実施する。	・利用者の状態に応じた計画的な栄養管理。 ・ソフト食、ペースト食提供につなげる市販食品等の検討。 ・嚥下困難、低栄養高リスク者への栄養強化食品等の添加、栄養改善。 ・法人内で情報共有を図り、予算内で効果的な、満足度の高い食事の提供。		
②	虚弱な利用者への適切で迅速な対応。	・ラウンドでの情報や日誌等を活用し食事の変更の提案、多職種と連携し健康状態の維持、低下防止に努める。		
④	LIFE を活用した栄養マネジメントの強化。	・褥瘡、看取り、栄養マネジメント強化加算等、多職種と連携し施設事情の合わせ加算算定に取り組む。		

【職種別横断委員会】

《情報セキュリティ委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	個人情報保護の内部監査の実施	・年1回、所定のチェック表を用いて全部門の情報管理の監査を実施。 ・結果報告書を作成し、法人、各部門内へ提出。内容について周知検討し、速やかに改善を求める。		
②	個人情報に関する研修	・年1回研修を実施し、情報漏えいリスクや適切な情報管理を理解する。		
③	個人情報に関する規程類の管理、必要に応じた修正及び周知	・各種規程類の修正や変更を要する場合、施設長会議に諮り、関係部署の協力を得ながら実施する。 ・情報機器や発信ツールが現場で適正に使用されるよう、委員は自施設の状況把握及び情報周知を行う。		

【職種別横断委員会】

《ブランディング委員会》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人の中長期計画に基づく人材確保について、新卒・キャリア・グローバルなどあらゆるチャンネルを駆使し、着実に進める。	・コロナ禍においても有効的な採用活動の手段を講じ、採用計画に基づいて年間スケジュールを作成し、着実に実行する。		
②	広報委員会と有機的な連携を図り、内外への法人の広報力を強化する。	・情報共有や広報委員としての必要な知識を取得することを目的に、定期的に研修や合同の会議等を開催する。(年2回)		
③	法人のブランド力強化、また、介護・福祉のイメージアップを図る為に、WEBメディアを通じ、積極的に情報を発信していく。	・広報誌「クローバースマイル」の年2回発行。(回数は要検討) ・「WEBメディア『クローバースマイル』」の運用。(原則、週1回更新)		
④		・SNSの拡散効果を存分に活用し、法人や各部門の「Twitter」と「WEBメディア」をリンクさせることで、閲覧数を増やす。		

【足立部門】

《総務課》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	本館・別館ともに老朽化による建物および設備機器の修繕対応を計画的に実施する。	・委託業者の賃金上昇、光熱水費、食材料費等の高騰を考慮し、利用率、収支状況を把握し、法人管理課の協力を得ながら進める。		
②	ハローワーク・人材紹介会社を活用し、人材を確保と職員定着を特養と連携しながら進める。	・早期に面接設定を行い、雇用機会を逃がさないように対応。また採用後の職員定着に向けフォローを行う。		
③	環境整備を実施し、利用者の生活環境の向上に加え、職員が働きやすい環境整備も目指す。	・衛生面に配慮し綺麗で過ごしやすい環境整備の為に清掃の実施や整理を強化する。		

《部門特記事項》

- ① 特養本館 4F 機械浴槽昇降機改修工事 見込工事費 10,000,000 円
- ② 別館ボイラー入替工事 見込工事費 15,000,000 円
- ③ シルバーホール・別館建替え工事用資金積立て積立予定額 20,000,000 円

令和5年度

《年間予算表》足立部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	220	93.0%	965,625,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	16	100.0%	78,353,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護	35	83.0%	99,545,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護			0		0	****			0		****		****		0
地域包括支援センター			58,253,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			1,201,776,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			738,612,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			215,887,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			142,475,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			456,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0		0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			2,556,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	****		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			31,431,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,370,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			1,692,000			0.0%			0		0.0%		****		0
長期貸付金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			28,640,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			9,882,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0		0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			1,174,001,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			27,775,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期未支払資金残高			463,702,979												
当期末支払資金残高			491,477,979												

《特記事項》

※ 介護老人福祉施設(従来型)の収入に、東京都経営支援補助金 5,830,000円含む ※特養本館4F機械浴槽昇降機改修工事 見込工事費 10,000,000円計上

※ 別館ボイラー入替工事 見込工事費 15,000,000円計上 ※シルバーホール・別館建替え工事用資金積立て積立予定額 20,000,000円計上

※ 冷温水発生機冷却塔ファンモーター修理 1,991,000円計上

【足立部門】

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	職員の定着率の安定と後進育成を意識した各層のマネジメント力向上。	・トレーナー制度の強化。 ・育成計画の明確化と実施。 ・マネジメント力などフロア格差の是正。		
②	利用率93%を目標とし、延べ平均空床日数30日/月以下、延べ平均入院日数300/月以下。また、最短で感染症を収束させ運営の安定を図る。	・SS相談員業務と協働の継続。 ・平均 5名/月 入所目標。 ・係長、ケアマネの実調業務依頼。		
③	ケアの質を高めるために職員の知識と技術の向上を図る。	・知識と技術の伝達機会を確保し、業務を通じ、やりがいを醸成する。 ・計画通り研修を実施し、「オンライン」を活用し、参加数増を図る。		
④	適切な人員配置と、合理的に業務を促進し、運営の安定を図る。	・リーダー層のコスト意識の向上。 ・介護業務、ケアマネ業務整理。 ・勤務表の管理徹底。 ・係長業務の標準化。		

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	褥瘡・低栄養高リスク者への栄養価のアップ、また、新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら「食」の楽しさを提供する。	・提供方法、付加食品の選定。 ・フロアでのおやつの盛り付け等の計画、実施。 ・食材の高騰につき、更なる献立の工夫と質の維持。		
⑥	看護係内の情報共有を強化し、課題については迅速に対策を講じ、改善を図る事で多職種連携の質向上、利用者（家族含む）満足度向上、入院期間の短縮を目指す。	・医療的な観察ポイントを明確化し、アセスメント力を向上。 ・利用者、家族の意思を都度確認し、それらを尊重した看護を意識する。		
⑦	短期入所生活介護 更なるサービスの質、利用満足度の向上を目指し、平均利用率110%を目標とする。	・自宅での体調管理を継続して依頼、利用前の確認徹底。 ・定期的な会議で情報共有と、サービス提供の確認。 ・ご利用時の個別プランを明確にし、フロアと共有する。		
⑧				

【足立部門】

《デイサービスセンターはなはた 一般》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間平均利用率 83%、利用者登録人数 95 名を目標に事業運営の安定化を図る。	・重度者や対応困難者、総合事業利用者の柔軟な受入。 ・個別機能訓練加算を年度内に算定する。		
②	職員一人ひとりの専門性を高め、各活動の意義や目的を理解し、発信しながら提供する事で、サービスの質を向上させる。	・各会議の効率性と質の向上。 ・各活動グループで 2 ヶ月に 1 回内容を評価し、効果的（身体機能維持、認知症予防）なサービスを提供。		
③	人材育成。 職員のスキルアップ、観察力、対応力、見守り力の向上を図る。	・計画的な内部研修の実施。その他外部研修への積極的参加。 ・モニタリング結果を共有し、ケアの統一化、PDCA サイクルを回す。		
④	地域貢献。 地域サービス事業の実施。	・コロナの感染対策を講じながら来食サービスを継続する。 ・開催方法を検討し、クローバー大学を再開する。		

【足立部門】

《足立区地域包括支援センターはなはた》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	訪問支援事業を全職員（センター長・事務職）で協力して行う。	・ 来所相談を活用し、9月までに60%、12月までに80%行い、年度末に100%に近づくよう、毎月所内全員で進捗を確認する。		
②	新規事業である「本人ミーティング」の実施	・ 担当者を中心に対象者を選定し、決められた回数以上を実施していく。		
④	「自主グループ」の創出	・ みんなで元気アップ教室の卒業生を中心に、自主グループの創出を1つ以上行う。		
④	職員同士の良好な関係の構築、継続	・ センター長交代、復職予定の職員がいるため、人事考課面談の活用。また、日々のコミュニケーションを各職員が大切にし、意識して行う。		

【扇部門】

《総務課》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	財政基盤の強化へ向けた取り組みを行い、安定経営につなげる。	・経営状況の把握とその分析を月次報告に基づき行い、スタッフ会議にて共有・検討しながら実施していく。		
②	「見える化」を通して職員の経費削減意識の向上を図る。	・消耗品である事務用品や紙オムツ等の購入額、電気・ガス・水道といった光熱水費の額を毎月職員全体にサイボウズ等を通じて予算対比で明示し、職員の経費削減への意識を高める。		
③	整理・整頓を徹底しサービスの品質向上を目指す。	・整理・整頓・清潔・清掃の不徹底を原因とする介護サービスの低下を防ぎ、役職者が中心となり施設をあげて整理・整頓・清潔・清掃の4Sを推進する。		

《部門特記事項》 ・ 厨房排気システムアクアフィルター更新工事(足立区)

令和5年度

《年間予算表》扇部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	76	95.0%	340,346,000			0.0%					0.0%		****		0
短期入所生活介護	4	130.0%	24,185,000			0.0%					0.0%		****		0
通所介護	30	72.0%	72,083,000			0.0%					0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	57.0%	32,913,000			0.0%					0.0%		****		0
訪問介護(高齢)		月平均20名	15,434,000			0.0%					0.0%		****		0
地域包括支援センター			61,625,000			0.0%					0.0%		****		0
収入合計(1)			546,586,000	0	0	0.0%		0		0	0.0%		****	0	0
人件費支出			346,704,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			97,951,000			0.0%					0.0%		****		0
事務費支出			84,057,000			0.0%					0.0%		****		0
利用者負担軽減額			161,000			0.0%					0.0%		****		0
支払利息支出			0		0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			2,032,000			0.0%					0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	****		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			360,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,333,000			0.0%					0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			3,911,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			4,482,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0		0	****					****		****		0
支出合計(2)			541,991,000	0	0	0.0%		0		0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			4,595,000	0	0	0.0%		0		0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			189,182,075												
当期末支払資金残高			193,777,075												

《特記事項》

※

※

【扇部門】

《特別養護老人ホーム扇》

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	特養 95%、ショートステイ 130%以上の利用率を確保し、安定した経営基盤とする。	・待機者 4 名以上を確保、月 2 回の検討会議。複数職員で業務分担しながら、退所後 14 日以内の新規入居を目指す。ショートステイについては、居宅介護事業者や自治体と連携し対応。		
②	新しい体制のもと、業務改善や利用者満足度の向上を図る。	・相談員が新任となる。業務改善に向け、役割や体制を検討する。		
③	運営基準、法人指針に基づいた研修の実施、委員会活動の見直し	・虐待やハラスメント防止について、研修内容の工夫、チーム会議や委員会活動を見直し、適切な対応や正しい理解につなげる。 ・クレドカードや気づきのカードの活用を積極的に行う。		
④	安定した運営に向けて、費用の抑制に努める。	・電気やガスの使用について、マニュアルの作成や見直しを通して節約に努める。		

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	感染症、災害への対応を強化する。	・感染症予防、発生時の対応について訓練を実施。必要なサービス継続ができるようにする。 ・防災委員会を中心に、訓練の実施やマニュアルを作成する。		
⑥	LIFE 関連加算の算定を計画的に行う。	・褥瘡ⅠとⅡ、排泄Ⅰ、科学的体制推進Ⅰ、安全対策体制加算の算定を計画的に行う。		
⑦	低栄養高リスク者へ改善の取り組みを行う。	・おやつ代替の方に添加する物、施設負担で状態に応じた形での高栄養食品を予算可能な範囲で提供し改善を図る。		
⑧	施設設備の改修を通して、サービスの向上を図る。	・インカムの導入、機械浴槽入れ替えに向けての準備。利用者の安全確保、満足度の向上につなげる。		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 一般》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率 72% (21.6 名)、合計登録者 100 名以上を確保する。	・居宅介護支援事業所への定期的連絡と訪問による営業の実施。 ・入浴、余暇活動など利用者ニーズの把握と対応。 ・ワンデイ（散髪含む）の働きかけ。 ・科学的介護推進体制加算の取得のに向けた取り組み。		
②	自立支援に向けた、適切で満足度の高いケアサービスの実施。	・介護計画書作成時等で、本人や家族の意見を聞きつつ、個々の要望や状態を的確に把握し、目的に沿った支援を行う。 ・生活リハビリ提供意識の強化。 ・滞在時間の意識と有効活用。		
③	職員個々のスキルアップを図り、サービスの質の向上を目指す。	・センター会議で接遇や基礎介護等の課題を検討、再確認し合い、実践。研修の実施。 ・その都度職員間で、伝え合いができる意識環境づくり。		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 認知》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率 57% (6.8 名) 以上、全体登録者 30 名を確保する。	・居宅介護支援事業所への定期的連絡と訪問営業の実施。 ・ワンデイ（散髪含む）の働きかけ。 ・機械浴を活用した重度化対応。 ・科学的介護推進体制加算の取得の向けて取り組み。		
②	在宅生活の継続性を活かし、認知症状（周辺症状）の改善に繋げる支援を実施する。	・在宅での日課や日常生活動作などを把握、能力維持への働きかけ。 ・穏やかな環境で個別支援を行う。 ・併設の浴室を活用しつつ、個々に合わせた入浴の提供を行う。		
③	職員個々のスキルアップを図り、サービスの質の向上を目指す。	・センター会議で接遇や基礎介護、適切なケア方法等の課題を検討、再確認し合い実践していく。研修の実施。 ・職員間で都度伝え合いができる環境づくり。		

【扇部門】

《ヘルパーステーション扇》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令に基づいた適正な事業運営を行う。	・法人内自主点検（人員や設備、運営、介護給付算定等の点検/年1回） ・ヘルパーの適正な労働条件の確保（労働状況の確認、改善） ・適正なサービスの提供（訪問介護の手引きの見直し、作成と周知）		
②	感染症や災害発生時の適切な対応	・マニュアルの随時見直し及び作成（感染症、積雪、地震、台風、水害時等の発生時の対応手順とヘルパーの安全確保）		
③	働きやすい環境づくりと人材確保・人材育成	・業務改善（人事管理や記録、報連相等の効率化による負担軽減） ・労務問題の把握と改善 ・研修の実施（オンライン研修や各事業所内での研修・演習を実施）		

【扇部門】

《足立区地域包括支援センター扇》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域包括ケアシステム構築の一環として、若年層の協力員登録を目指す。	・若年層の協力員が増えることにより、地域作りの一旦も担っていただき、住みやすい町づくりの構築のため第二層協議体の参加の促しをしていく。		
②	実態把握を計画的に進めていく。	・計画的に月目標を掲げ、達成に向け訪問。毎月件数を報告し、実施状況の確認を確実に行う。		
③	地域包括が店舗や公共の場を活用し、出張相談を行う。	・年3回を目標に店舗や町会自治会の会館など活用させて頂き包括のPR 含め相談に出向く。		
④				

【六月部門】

《総 務 課》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	キャリア採用、異動職員への業務引継ぎを的確に行い、経理・総務業務を円滑に遂行する。	・総務内の業務分担の見直しを図り、職員の適正に合った業務分担とする。 ・業務内容は共有し風通しを良くする。		
②	収支状況を常に確認し、必要に応じて執行計画の見直しを図る。	・会計担当者は収支状況、執行状況を確認し、会計責任者や施設長に報告。 ・月次報告をスタッフ会議で現場責任者と共有し対策を検討する。		
③	感染症予防対策の徹底	・事務所周辺の感染症予防対策を徹底。 ・感染症予防物品、衛生物品等の管理に努める。		

《部門特記事項》

- ① 空調関係工事 ・ケアハウスパッケージエアコン更新工事第3期（全3期、最終段階） ・全館不具合ヵ所の対応（随時）
- ② 特養浴室タイル（剥離箇所）修繕工事

令和5年度

《年間予算表》六月部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	50	95.0%	235,478,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	5	100.0%	26,110,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護	25	80.0%	69,582,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	62.0%	34,008,000			0.0%			0		0.0%		****		0
居宅介護支援事業			31,861,000			0.0%			0		0.0%		****		0
訪問介護(高齢)			49,256,000			0.0%			0		0.0%		****		0
訪問介護(障がい)			3,888,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ケアハウス	80	85.0%	153,159,000			0.0%			0		0.0%		****		0
地域包括支援センター			72,512,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			675,854,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			360,963,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			144,183,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			124,569,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			540,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0		0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			2,861,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	0.0%		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			2,760,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,183,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			4,020,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			4,476,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0		0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			646,555,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			29,299,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			176,613,828												
当期末支払資金残高			205,912,828												

《特記事項》

※ 包括支援センター予算額に包括委託料返還分500万円含む

※ 令和5年度～令和6年度に掛け、空調大規模改修の予定(足立区予算)

【六月部門】

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率95%を達成する。	・退所後1週間以内の入所に向け常に待機者（男性2名、女性3名）を確保する。家族と連絡を密にし意思を明確化して入院日数減に努める。		
②	専門職間の連携と情報共有を密に行い、利用者の心身の変化に対して迅速かつ適切に早期対応を行う。	・サイボウズ等を有効活用し変更、変化に適切に対応する。 ・食事、排泄等の基礎介護力の向上に取り組む。研修参加、実践での伝達。		
③	人材育成と働きやすい環境作りに取り組む。 現状の人員配置で適切な業務継続。	・職員個々の課題を明確化し、取組の具現化（人事考課シートの活用） ・業務内容の見直しを進め、効率的な業務を行い負担軽減を図る。		
④	感染症対策の継続と感染症対策下での生活の質の維持、向上。 コロナ以外の感染症に対する意識の維持、向上。	・制限していた活動・行事の再開 ・家族と過ごす時間を作る工夫。 ・感染予防対策への意識、行動継続 ・肺炎、尿路感染等の知識向上。		

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	嚥下困難者への適切な対応として、安楽に食事、栄養摂取ができるよう適切な対応を継続する。	・適切な食事形態の把握と早期変更の為の提案を実施。 ・栄養士等と連携し、安全且つ視覚的な良さを兼ね備えた食事を提供する。		
⑥	短期入所生活介護 目標利用率 100%以上を維持。 特養空床の活用を促進。	・行政機関との連携を密にし、措置、緊急、長期利用を積極的に受け入れる。 ・併設事業との連携強化を図る。		
⑦	短期入所生活介護 効率的な営業活動の展開	・併設事業を活用した P R 活動。 ・関係機関との連絡、連携強化。 ・パンフレット等の効率的な配布		
⑧	短期入所生活介護 在宅生活を意識した支援サービスの提供	・個別支援計画をより具体化し、特養での生活の日課の中で提供する。 ・モニタリング方法を見直し、簡単且つ具体的な情報収集を行う。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 一般》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	1日の利用人数20名以上が維持できる登録者数を確保し、目標利用率80%を達成する。	・居宅事業者への営業には活動内容が分かりやすい資料を持参。 ・既存利用者の利用回数増回を勧める。		
②	コロナ禍で中止していた行事等を再開する。	・感染予防対策を講じた上で外出行事や屋外での機能訓練を再開し利用者の心身機能低下を予防する。		
③	ボランティアの再開。	・感染予防対策を行った上で書道や食器洗い等利用者への飛沫感染リスクの低いボランティアから再開していく。		
④	事務業務の効率化を図る。	・記録、書類等を整理、改善し事務業務の効率化を図り、利用者サービスの充実、個別対応や活動内容の充実を図る。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 認知》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	1日の利用者数7名以上が維持できるよう登録者数を確保し、目標利用率62%を達成する。	・一般デイからの計画的な移行を推進し利用率低下を防ぐ。 ・具体的なサービス内容をアピールし新規利用者を獲得する。		
②	個別ニーズの把握とサービス内容の充実を図る。	・知的・身体的機能を活用したプログラムで認知機能の維持を図る。 ・活動の中で楽しい、嬉しい等心地よい体験ができるよう支援する。		
③	日常生活動作訓練の継続。	・残存機能を意識した機能訓練を行い、食事や排せつ等の日常生活動作を維持し、自宅での生活が継続できるよう支援する。		
④	地域連携会議の再開。	・コロナ禍で書面での報告が中心だった会議を、感染状況に合わせ対面での実施に向け検討、準備し地域に向け発信する。		

【六月部門】

《足立区ケアハウス六月》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	認知力、体力低下による退所を予防し、目標利用率 85%を達成する。	・対象利用者に介護保険の申請とサービス導入推進。 ・訪問看護、服薬ロボ等医療的支援の導入促進。		
②	施設の概要や入居要件を地域に向けて発信し、新規入居者を獲得する。	・感染予防対策をした上で生活エリア内について具体的な案内を実施（タブレット活用）。 ・区報、お便り等の有効活用。		
③	感染症予防をしながらの社会資源活用。 クラブ活動や行事の部分的再開。	・活動の実施方法を再検討。 ・会話の伴わない企画の実施。 ・全体連絡会での体操実施。 ・包括との協賛事業増回。		
④	経年劣化備品の交換等環境整備	・パッケージエアコン入替工事最終期を滞りなく実施。 ・付帯設備等の不具合の早期発見と対処。		

【六月部門】

《ケアマネジメントセンターはなはた》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	ケアプラン作成件数 35/1 人。ケアプラン作成件数の維持、各種加算を取得し、安定した事業運営を行う。	・特定事業所加算Ⅱ体制の維持 ・職員 5 名体制による収支改善 ・対応困難、軽度者の受入れを意識し、関係機関からの信頼を得る。		
②	ケアマネジメントに関する知識、技術を養い、利用者に質の高いケアマネジメントを提供することで、職員育につなげる。	・個別研修計画に沿った外部研修受講（1 人 4 回/年） ・新人ケアマネマニュアルを活用し、段階的な業務評価を行う。		
③	地域との関係再構築 コロナ禍で希薄となった地域とのつながりを再構築し、地域で役割を持った活動を行う。	・医療介護連携研修、各種集合研修へ全職員が参加。（1 人 1 回/年） ・ZOOM を活用した利用者家族交流会を再開する（2 回/年）		
④	事業継続 災害、感染症等に対応した事業継続計画を確立し、有事の際にも事業継続できる体制を作る。	・居宅介護支援における事業継続計画を確立し、必要書類と物品の整備、想定訓練を実施していく。		

【六月部門】

《ヘルパーステーション六月》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	1 日の目標訪問件数 40 件。サービス提供責任者 1 人当りの利用者数 25 名を維持（上限 50 名）とし、安定した事業運営を行う。	・登録ヘルパーの派遣調整を行い訪問件数 1 日 40 件を維持する。 ・居宅支援事業者と連携を強化しサービスの調整と新規獲得を図る。		
②	対面での研修を再開し、登録ヘルパーの育成を行う。	・研修計画に基づいた研修の実施 ・感染対策を講じながら対面での研修を再開する ・個別の助言・指導を継続する。		
③	特定事業所加算Ⅴの加算を取得し、安定運営につなげる。	・算定要件（体制要件、人材要件）を検討、準備する。 ・登録ヘルパー採用に向け各部署、法人内事業所との連携を図る。		
④	利用者家族、地域や他職種等利用者を取り巻く関係者との連携を強化。	・利用者の変化や状況を各関係機関と共有し、在宅生活の維持につなげる。		

【六月部門】

《足立区地域包括支援センター六月》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	総合相談支援における実態把握訪問履行100%に向け、計画的に訪問を実施し、区民の方々に必要な情報の提供、状況の確認を行う。	・実態把握調査を通じ状況把握と必要に応じた介護予防事業の初回を行う。認知症状等が見られる方への受診奨励や受診支援を行う。		
②	虐待や多問題状態、消費者被害等が生じている高齢者の尊厳ある生活維持と生活継続に向けた権利擁護のために必要な支援を行う。	・成年後見制度の活用相談支援。 ・消費者被害の防止に関する情報提供。 ・高齢者虐待通報の全件対応。		
③	包括的・継続的ケアマネジメント支援に対して地域の介護支援専門員や医療関係者との定期的な交流会や情報交換・相談でサポートを行う。	・地域ケアネットワーク研修会、地域ケア会議の開催。 ・医療介護連携事業における研修や交流会への出席等、顔の見える関係づくりを進める。		
④	高齢者の心身状態の維持を図るため、介護予防教室の定期開催及び自主グループを年度内に1～2グループ作る。	・ウォーキング講座の開催、モルック等を活用した自主グループ作り。 ・認知症等があっても通える居場所を地域に作る。		

【千住部門】

《総 務 課》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	建物や設備の安全を維持するために、耐用年数超過、経年劣化による設備機器、備品等の交換、修繕を計画的に進める。	・施設の設備や備品等の状況を管理し安全な運用が維持できるよう速やかに対応する。 ・法令を遵守し、緊急性が高い物を優先し修繕等の対応を進める。		
②	安定した事業運営のために、各サービスの適正人員と収益を確保する。	・毎月各サービスの目標利用率維持及び収支状況を各部門と共有。 ・安定した事業運営のために適切な人材を確保する。		
③	災害や感染症による有事に対応した事業継続ができるよう備える。	・災害や感染症に備え、備品や備蓄の不足が生じないように管理する。 ・災害及び感染症 BCP に基づいた訓練を全部署協働にて実施する。		

《部門特記事項》

①	電動ベッド修理	令和 5 年度後期	見込修理費	1,500,000 円
②	加圧給水ポンプユニット交換工事	令和 5 年度後期	見込工事費	1,800,000 円
③	厨房 I H調理器購入	令和 5 年度後期	見込購入費	551,000 円
④	消防設備（受信機・非常用予備電池交換）	令和 5 年度後期	見込購入費	351,000 円

令和5年度

《年間予算表》千住部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(新型)	100	94.0%	545,821,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	20	82.0%	94,779,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護	35	82.0%	96,682,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	79.0%	44,303,000			0.0%			0		0.0%		****		0
居宅介護支援事業		264件	55,916,000			0.0%			0		0.0%		****		0
グループホーム	18	98.0%	92,523,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			930,024,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			611,857,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			130,252,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			110,870,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			270,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			3,579,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の支出			3,810,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			46,360,000			0.0%			0		0.0%		****		0
固定資産取得支出			1,751,000			0.0%			0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,768,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			5,213,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			6,000,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			5,078,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0		0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			926,808,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,216,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			150,378,915												
当期末支払資金残高			153,594,915												

《特記事項》

※ 収入の内、介護老人福祉施設は5,173,000円を東京都経営支援補助金、居宅介護支援事業所：330,000円、グループホーム：330,000は第三者評価補助金として含む。

【千住部門】

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、適正収益を確保する（利用率目標 特養単体 94%）。	・多職種協働での支援の強化。 *記録のダブルチェック、多職種と共同しての予防的ケアの実施入院日数の減少に繋げる。 ・退所後、空床入所日数の短縮。 *空床待機者を常時6名以上確保。 *空床後の入所平均日数7日以内。 ・個別機能訓練加算Ⅱ算定。 ・光熱水費高騰による節電等実施。		
②	利用者の尊厳を守り、安全に安心して過ごしてもらうための体制を整える。	・不適切な対応、虐待防止の取組。 ・コロナウイルス感染症を含む感染症の侵入や蔓延の予防。 ・事故の再発予防の検討、対策の周知や実施。 ・入居者が快適に過ごせる環境（しつらえ・整理整頓）を整える。		

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
③	新規職員の獲得と職員が定着できる働きやすい環境を作る。	・キャリア別介護研修の実施。 ・主任職以上による現場職員への日々の声掛けと必要時面談実施。 ・補助金を活用し各職種の帳票を順次OA化し業務効率化を図る。 ・介護実習生受入再開のため係長職の介福実習指導者講習受講。		
④	栄養価を維持しながら、おいしく、安全に食べられる食事の維持・向上。	・利用者や職員の食事に対する意見等を確認し質の向上につなげる。 ・視覚に配慮した彩りよい加工食(ソフト食)の提供。 ・有事(災害・感染症)に適切に食事提供ができるよう、食事委託会社と連携して備える。		
⑤	安定した事業運営のため、短期入所生活介護の適正収益を確保する(利用率目標 短期入所生活介護単体82%)。	・毎月4名以上の新規利用者を獲得し登録者数100名以上を維持。 ・利用の相談に積極的に対応し、緊急な依頼でも迅速に対応する。 ・施設紹介パンフレットの見直しと居宅ケアマネへの訪問。		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 一般》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者 を確保し適正収益を確保する（利用 率目標 82%）。	・登録者数の確保 110 名（一般・総 合事業合計）。 ・居宅ケアマネに毎月訪問する（月 間プログラム・チラシ作成）。 ・光熱費高騰による節電等を実施。		
②	通所している全利用者が安全・安 心・快適に利用できるよう環境整備 と職員の資質の向上を図る。	・感染症予防対応の点検と対応訓 練の定期実施。 ・接遇研修の実施。 ・安全運転者講習の実施。 ・介護保険制度理解向上研修実施。 ・個別ニーズを把握し活動に取り 入れる。		
③	社会福祉法人として地域に信頼さ れ地域ニーズに貢献する活動を実 施する。	・感染予防を行いながら、地域で活 躍するボランティアや医療福祉実 習生の受け入れを再開する。		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 認知》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者 を確保し適正収益を確保する（利用 率目標 79%）。	・登録者数を 36 名以上確保する。 ・居宅ケアマネに毎月訪問する（月 間プログラム・チラシ作成）。 ・一般デイと連携し該当利用者の 認知デイへの適切なサービス変更。 ・光熱費高騰による節電等実施。		
②	通所している全利用者が安全・安 心・快適に利用できるよう環境整備 と職員の資質の向上を図る。	・感染症予防対応の点検と対応訓 練の定期的実施。 ・接遇研修の実施。 ・安全運転者講習の実施。 ・介護保険制度理解向上研修実施。 ・認知症を有する利用者に特化し た活動支援。 ・認知症実践者研修の受講（常勤）。		
③	社会福祉法人として地域に信頼さ れ地域ニーズに貢献する活動を実 施する。	・感染予防を行いながら、地域で活 躍するボランティアや医療福祉実 習生の受け入れを再開する。		

【千住部門】

《ケアマネージメントセンター千住桜花苑》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者数を確保し併設事業所との協働を図る。	・ケアマネ全員が目標プラン数を持つ(総数 292 件)。 ・部門内運営会議にて利用者や地域のニーズを発信し、協働して併設事業所の資質向上につなげる。 ・併設事業所紹介者数の把握。 ・光熱費高騰につき節電等の実施。		
②	介護保険制度に精通し業務遂行上不備のないように職員間で情報を共有する。	・プロセス確認表を運用しての職員個々の資質の向上。 ・週1回の会議にて介護保険制度やサービスの情報を共有する。 ・オンラインを活用し研修等に積極的に参加する。		
③	地域の高齢者ができる限り地域での生活を継続できるように、行政や各サービスとの連携を強化する。	・地域包括支援センターや介護サービス事業所と連携し、シームレスな支援を実施する。		

【千住部門】

《高齢者グループホーム千住さくら》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のため、適正収益を確保する（利用率目標 98%）。	・入居待機者の状況を定期的に確認し速やかな入所に繋げる。 ・入院と退所後空床の年間総日数を 120 日以下にする。 ・サービス提供加算Ⅰの算定を維持する。		
②	入居者が安全に、安心した暮らしが継続できるように職員の資質向上を図る。	・接遇研修の実施（電話対応・来客対応・利用者対応）。 ・虐待防止研修実施。 ・BCP 対応した災害訓練の実施。 ・認知症基礎研修受講（目標 8 名）。		
③	SDGs を意識した取り組みを行っていく。	・感染症予防に努めながら、実習生やボランティアの受け入れ。 ・近隣住民や子供達との交流。 ・ゴミの削減 ・光熱水費削減の取り組み。 ・近隣の美化活動の実施。		

【花畑部門】

《総 務 課》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	物価高騰による支出増加を見込んだ運営の実施。	・電気、ガスの使用量削減。 (目標：前年比マイナス 10%)。 ・消耗品の物品選定や使用量の見直し。 ・食費、居住費の負担額見直し。		
②	職員体制変更に伴い、業務分担の見直しを行うとともに、より深く業務内容を理解するため個々のスキルアップを図る。	・担当職員が休みだと進まない業務がないよう、業務ごとにメインとサブの担当者を決める。 ・会計・労務管理などの外部研修(東社協等)を積極的に受講する。		
③	期中に導入が予定されている「インボイス制度」「電子帳簿保存法」に速やかに対応できるよう準備を進める。	・研修受講や資料の回覧によって要点の把握や導入に必要な環境整備を行う。		

《部門特記事項》

①パソコン更新 @150,000 円×15 台(花畑拠点 14 台、花畑従来型拠点 1 台) 2,250,000 円

②インカム増台(リース契約) @3,000 円×72 回払×2 台 432,000 円

令和5年度

《年間予算表》花畑部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	40	96.0%	187,061,000			0.0%			0		0.0%		****		0
介護老人福祉施設(新型)	100	96.0%	552,485,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	20	80.0%	92,846,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	70.0%	42,340,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			874,732,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			542,936,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			130,914,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			113,191,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			1,296,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			5,652,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の支出			2,751,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			54,180,000			0.0%			0		0.0%		****		0
固定資産取得支出			2,750,000			0.0%		0	0		0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,665,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			5,130,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			6,000,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			1,584,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0		0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			869,049,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			5,683,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			190,247,749												
当期末支払資金残高			195,930,749												

《特記事項》

※ ノートPC更新 ユニット型14台、デイ2台、従来型1台 @150,000円 合計2,550,000円

※ 電気代：前年実績見込比150%、ガス代：前年実績見込比130%で計上している ※デイテーブル増台2台 200,000円

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% 安定した事業運営を図る。	・空床発生から入居までの期間を平均10日以内で行う。入居待機者2名を常時確保していく。		
②		・課題分析と改善策を検討。年間総入院日数1,400日以内とする。 ・適正な介護度での支援が出来るよう、区分変更の必要な入居者に対し見直しを行う。		
③		・現在取得している加算を継続。滞りなく取得していくために多職種連携を図る。		
④	感染症に対する知識と備えを全職員(ケアサポーター含む)が理解し、蔓延防止に取り組む。	・環境整備の時間を設け、共有部の清潔を保つ。 ・実行動が行える研修実施。 ・ノロウィルス対応マニュアル作成、研修実施。		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	多職種連携にて、入居者個々の状態にあった支援が行えるよう、基礎介護力の向上を図る。	・多職種（全職種）によるミールラウンド等を実施。 ・個々の介助方法が適切に行えるよう、介護職含め協議をしていく。		
⑥	経験や職位に応じた研修の実施。	・オンライン研修を用いて、階層別に研修カリキュラムを組立て、全職員が受講できるよう取り組む。		
⑦	係長・主任・リーダーを中心としフロア・ユニット運営を強化し、不適切な対応撲滅に取り組むと共に、やりがい・働きやすい職場作りを促進する。	・各会議で“不適切対応、虐待防止、働き易い環境”について振り返る。 ・各役職者、トレーナーが指導・育成について理解を深める場を設け、同じレベルの指導を行う。		
⑧	短期入所生活介護 目標利用率：80% 安定した事業運営を図る。	・窓口3人体制にて、業務の見直しを行う。 ・支援内容の見える化を図り、営業活動の資料を充実させ、60名の実利用者数を確保する。		

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% 安定した事業運営を図る。	・空床発生から入居までの期間を平均7日以内で行う。 ・入居待機者男性1名、女性1名を常時確保していく。		
②		・課題分析と改善策の検討を行い、年間総入院日数540日以内とする。 ・管理栄養士以外の職種もミールラウンドを行い、飲食時の姿勢や食べさせ方を介護職と協議。誤嚥性肺炎による入院を防止する。		
③		・適正な介護度で支援が行われていくよう、コロナ禍ではあるが、適切に認定調査を依頼していく。		
④		・現在取得している加算を継続。滞りなく取得していくために多職種連携を図る。		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	排泄ケアの継続した見直しを行い、オムツ使用コストを前年度実績プラス 10%値上げ分以下を目標とする。(2,952,000 円以内)	・パット類は単価や製品特性を意識し利用者ごとの見直しを図る。 ・利用者の安心、業務軽減の双方の視点で検討を行う。		
⑥	経験や役職に応じたきめ細やかな研修を実現。職員の知識と技術の向上。そして、知るということ自信をもって支援していけるよう働きかける。	・オンライン研修を用いて、階層別に研修カリキュラムを組立て、全職員が受講できるよう取り組む。		
⑦	係長・リーダーを中心とした組織によるフロア・ユニット運営を行い、不適切な対応撲滅に取り組むと共に、やりがい・働きやすい職場作りを促進する。	・毎月の諸会議にて必ず“不適切な対応・虐待防止”及び働きやすい環境づくりを振り返る。 ・各役職者・トレーナーが指導・育成について理解を深める場を設け、同じレベルの指導を行う。 ・環境美化委員と協力。共有スペースや物品。そして居室が清潔で整頓されることで、職員が気持ちよく働ける環境をつくる。		

【花畑部門】

《デイサービスセンターあすか 認知》

〈令和年5度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：70% 安定した事業運営と適切なサービス提供体制を構築する。 登録者数だけでなく、増回につながる様にケアマネ等への働きかけを行う。	・毎月利用率向上シートを活用し、状況を分析する。月のモニタリングに限定せず、利用者の状態変化を都度ケアマネに報告。		
②	認知症対応型通所としての機能を十分に生かした活動の展開と、アセスメント、支援計画の充実を図る。	・コグエボ（認知機能チェック&トレーニング）の活用、適正なアセスメントを通して個別評価を行い、生活に支障の出ってしまった物を補う通所介護計画を作成する。		
③		・研修計画を組み込み、個々の有する能力に着目する力を身につける。 ・送りノートを作成し活用する。 ・運営推進会議や家族交流会を開催し、情報収集を行う。 ・介護支援ソフトの活用。		

【荒川部門】

《総務課》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営が図れるよう収支状況を共有する。	・スタッフ会議にて各事業の収支状況の共有、予算執行状況の確認を行い、分析及び必要に応じた対策検討を行う。 ・物価上昇による支出を減らせる様、消耗品等購入先を検討し、昨年度比100%以下に抑える様努める。		
②	職員人材を確保しながら、定着率の安定を図る。(離職率5%以下)	・スタッフ会議にて超過勤務(時間数や偏り)及び有休取得状況の確認を行い、スタッフ共通認識の下、適宜対策検討を行う。		
③	経年劣化による修繕や備品の交換を計画的に行う。	・パソコン、制服など計画的に買替を行なう。 ・突発的な修繕は、区と協議をしながら実施する。		

《部門特記事項》

- ① 厨房内食器洗浄機交換工事(荒川区) ② 高圧ケーブル交換工事(積立金): 3,100,000円
 ③ 特浴自動ドア修理(積立金): 270,000円

令和5年度

《年間予算表》荒川部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	100	94.0%	451,501,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
短期入所生活介護	10	80.0%	38,563,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
通所介護	35	65.0%	76,368,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
居宅介護支援事業			19,778,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
収入合計(1)			586,210,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
人件費支出			386,371,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業費支出			99,583,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事務費支出			80,829,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
利用者負担軽減額			90,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
支払利息支出			0			*****		0	0		*****		*****		0
その他の支出			2,698,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
固定資産取得支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,086,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
債立資産支出			4,092,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			1,000,000		0	0.0%		0	0		0.0%		*****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間繰入金支出			5,274,000		0	0.0%		0	0		0.0%		*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****			0		*****		*****		0
支出合計(2)			582,023,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
支出差額(1)-(2)			4,187,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
前期末支払資金残高			53,620,798												
当期末支払資金残高			57,807,798												

《特記事項》

※ 介護老人福祉施設収入には、7,650,000円（積立金資産取崩収入）を含む。

※ 介護老人福祉施設収入には、1,287,000円（受託事業収入）を含む。

※ 通所介護収入には、280,000円（受託事業収入）を含む。

【荒川部門】

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	特養年間目標利用率 94% 地域貢献及び安定した事業運営に向け、空席発生から入居までの期間を年間平均 10 日以内で行う。	・荒川区の選考者名簿より入居事前調査を進め、3～5 名を目安として入居待機者を確保しつつ、速やかな入居に繋げる。		
②	利用者の安心と安全、安定した事業運営に向け、年間延べ入院者日数を 1,700 日以内とする。	・基礎介護委員会とフロアでの取組みをリンクさせ、高齢者に多い疾患での入院を中心とした分析、対策検討を行いつつ入院日数減を図る。		
③	安定した事業運営を図るため、短期入所生活介護年間利用率 80%を目標に運営する。	・月平均最低 2 名以上の新規利用者を獲得する。 ・利用中の状況報告等、家族への情報提供に努め、信頼関係を構築しつつリピート利用に繋げる。		
④		・新規顧客獲得に向け、居宅支援事業所との連携促進に努める。又、空床発生時の情報案内を強化する。		

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	新規加算の取得を行う（科学的介護推進体制加算Ⅱ）。	・加算算定に関する理解、役割分担など導入体制の整備を行い、10月より特養利用者の算定を開始する。		
⑥	職員が専門的知識と技術を学べる環境づくりに向けた研修体制を構築し、ケアの質向上を図る。	・研修資料に基づいた基礎介護研修を前年度未受講の介護職員に向けて実施する。また、年間研修予定を組み、計画的に実施する。		
⑦	利用者のQOL向上（排泄に係る時間削減、皮膚トラブル予防等）に向け排泄ケアの質的向上を図りつつ、オムツに関わるコストを抑えていく。	・TENAアドバイザー指導の下、基礎介護委員会を中心にオムツの製品特製や単価を意識した排泄ケアの見直しを行う。		
⑧	利用者・職員の負担軽減に資するよう、福祉用具や機器を効果的に取り入れつつ、持ち上げない介護を促進する。	・スライディングボードの増設やスライディングシートの取入れ等、移動補助用具を効果的に活用する。		

【荒川部門】

《荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター 一般》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間目標平均利用率 65% 登録者 90 名、1 日の実利用者数 26 名を目指す。	・見学から利用開始までをスムーズに行えるようにする。 ・居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者状況やデイサービスでの取組みを報告し、信頼関係を深めつつ新規獲得に繋げる。		
②	利用者が意欲的に安心して過ごせる環境をつくりつつ、サービスの向上を図る。	・安定した職員体制の確保する。 ・業務の内容の整理をしつつ、統一したサービス提供に努める。 ・施設内の環境整備を図る。 ・定期的な研修や勉強会を行い、職員の知識・認識を深める。		
③	社会の変化に合わせて、ご利用者のニーズを把握し、新たな取り組みを行っていく。	・皆で楽しめるイベントや個々の生きがい活動を充実させる ・広報活動（地域掲示や SNS 発信）の促進に努める。		

【荒川部門】

《グリーンハイムケアマネジメントセンター》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人の定める担当件数（管理者：20～24件、常勤：35件程度）の獲得と特定事業所加算Ⅲの算定維持を目指す。	・新規受け入れ可能時件数を常に把握し、依頼は積極的に受け入れる。 ・地域包括支援センターなどの関係機関へ空き情報を提供していく。		
②	利用者の利便性のため、部門内他部署との連携を密に図る。	・利用者が希望した際には、部門内のサービス利用調整を迅速に行う。 ・部門内で連携を図り、利用者に利便性の良いサービスを提供する。		
③	区立施設の併設事業所として、地域貢献に努める。	・契約に繋がらない相談等にも、可能な限り誠実に対応していく。 ・地域のキャラバンメイト活動参加など、地域に貢献する活動を継続する。		

【荒川部門】

《東日暮里地域包括支援センター》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	センター運営を適正に実施するために残業時間を昨年比 50%削減する。	・業務内容や作業手順を見直し、作業効率を強化する。		
②	コロナ禍・アフターコロナにおける地域のニーズを捉え、対応する。	・フレイル（虚弱状態の予防）や認知症予防のための活動の場を 3 カ所創出する。		
③	みまもり名簿新規登録者 100 名以上を目指す。	・みまもりネットワーク構築を進め、地域のつながりを強化する。		

令和5年度

《年間予算表》 東包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
地域包括支援センター			71,095,000	0		0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			71,095,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			54,779,000	0		0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			1,439,000	0		0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			9,877,000	0		0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
支払利息支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			262,000	0		0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
積立資産支出			600,000	0		0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			144,000	0	0	0.0%	0	0		0.0%	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			67,101,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			3,994,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
前期末支払資金残高			19,488,736										
当期末支払資金残高			23,482,736										

《特記事項》

※

※

【荒川部門】

《西日暮里地域包括支援センター》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域ケアシステムの構築に寄与する取り組みを実践する。	・地域住民と課題についての話し合いを行い情報共有にて、何ができるのかなど、検討していく。		
②	みまもり事業の推進に寄与する取り組みを実践する。	・みまもり名簿新規登録者数は、80名以上を目指す。 ・機関誌の配布、サロン等を通じて町会や高齢者との関係作りを継続。		
③	生活支援体制整備事業の推進について。	・区と整備状況を確認しながら今後の方向をセンターが担う2層の立場からの参画を行う。		
④	事業所移転先について。	・移転先の物件探しを継続して行っていく。		

令和5年度

《年間予算表》 西包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
地域包括支援センター			76,099,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			76,099,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			50,705,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			1,159,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			18,415,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
支払利息支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			222,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
積立資産支出			672,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			162,000		0	0.0%	0	0		0.0%	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0		0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の活動による支出			0		0	*****		0		*****	*****		0
支出合計(2)			71,335,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			4,764,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
前期末支払資金残高			19,752,905										
当期末支払資金残高			24,516,905										

《特記事項》

※

※

【荒川部門（町屋）】

《総務課》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	光熱費の増加対策として、現場へ収支状況などの情報を伝え、運営向上のための定例会議に参加する。	・財務三表、月次情報を的確に把握分析し、対応策等についてセンター全体で協議し、共有する。		
②	利用者の安全確保と運営展開を円滑にするため、状況を見ながら過不足のない人員配置に努める。	・応募がない状況を打破するためにセンター掲示板を活用し目に留まる掲示の工夫を検討し実施する。		
③	施設設備の維持管理に努め、利用者の安全・安心・快適な施設サービスの提供を図る。	・老朽化による施設設備の不具合等は法人本部管理課との連携の下、修繕計画を立て、区と協議の上対応する。		

《部門特記事項》

① エレベーター交換工事(積立金取崩) 工事費 20,150,900 円

令和5年度

《年間予算表》町屋

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
通所介護	40	65.0%	113,746,000			0.0%			0		0.0%		****		0
居宅介護支援事業			0			#DIV/0!			0		#DIV/0!		****		0
収入合計(1)			113,746,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			65,138,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			16,486,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			34,568,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			0			****			0		****		****		0
支払利息支出			0	0	0	****			0		****		****		0
その他の支出			624,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****		0	0		****		****	0	0
固定資産取得支出			0	0	0	****		0	0		****		****	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出			317,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****		0	0		****		****	0	0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****	0	0
積立資産支出			744,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****	0	0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****	0	0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****	0	0
拠点区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****	0	0
その他の活動による支出			0	0	0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			117,877,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			-4,131,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			15,969,564												
当期末支払資金残高			11,838,564												

《特記事項》

※ エレベーター交換工事(積立金取崩) 工事費 20,150,900円

※

【荒川部門（町屋）】

《荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター 一般》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定運営のため、年間平均利用率65%を目標（1日/26名）とする。	・新規利用者獲得が必須となるため、ケアマネからの利用者紹介について「断らない、受け入れるセンター」を打ち出していく。		
②	職場の組織化の再構築。	・利用者対応や業務改善への取り組みについて情報を一本化し、即応できる体制にする。専門性、担当制を生かし職場の組織力を高める。		
③	職員研修と地域交流。	・必須研修の定期的実施。（オンライン研修の活用） ・地域交流の再開。（地下ホールの貸し）保育園、学童Cなど。		
④	防災対策について。	・利用者の安全確保のために、災害発生を前提に家族等との約束事を策定する。さらに、非常食の定期的補充の実施。		

【台東部門】

《総務課》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	健全な事業運営を継続するため、全事業の収支状況の適正な把握と周知。	・予算執行状況を適正に把握し、その内容を全事業に対し周知、改善が必要な場合は対策を講じる。		
②	人材の確保と定着率を高めるとともに、育成にも力を注ぐ。	・新たな人材を確保するとともに離職を防ぎ安定した人事管理を行なう。また育成にも力を注ぎ知識と技術継承に全事業で取り組む。		
③	サービスマナーの向上と環境整備の徹底を図る。	・窓口対応・電話対応等の接客をさらに向上させる。また効率よく業務を行えるよう環境整備に取り組む。		

《部門特記事項》

令和5年度

《年間予算表》台東

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	50	94.0%	277,398,000			0.0%			0		0.0%		****		0
短期入所生活介護	10	85.0%	40,427,000			0.0%			0		0.0%		****		0
通所介護	30	40.0%	40,470,000			0.0%			0		0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	60.0%	29,766,000			0.0%			0		0.0%		****		0
居宅介護支援事業						#DIV/0!			0		#DIV/0!		****		0
地域包括支援センター			44,835,000			0.0%			0		0.0%		****		0
収入合計(1)			432,896,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			303,916,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業費支出			95,679,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事務費支出			48,853,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			252,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0		0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			2,112,000			0.0%			0		0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	****		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			0			****			0		****		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,206,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0		0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			3,628,000			0.0%			0		0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	****		0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			0		0	****		0	0		****		****		0
その他の活動による支出			0		0	****			0		****		****		0
支出合計(2)			455,646,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			-22,750,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			54,427,894												
当期末支払資金残高			31,677,894												

《特記事項》

※ 収入合計のうち指定管理料として介護老人福祉施設：54,237,000円、通所介護：5,358,000円、委託料として地域包括支援センター：32,114,000円を含む。

(うち、ゴミ処理料増額分：2,400,000円、光熱水費増額分12,000,000円、備品購入費：835,000円)

【台東部門】

《台東区立特別養護老人ホーム台東》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	入所を待つ区民へ円滑に入所案内を実施。目標稼働率 94%を目指す。	・選定、事前調査を円滑にし入所判定はカンファレンス・リーダー会議を活用する。 ・男性 1 名、女性 1 名を毎月待機になるよう調整する。 ・報酬改定に伴う加算を検討する。		
②	新型コロナウイルスの感染症拡大防止に努め入居者の生活を守る。	・感染予防を徹底し面会は行政指導のもと積極的に実施していく。 ・感染した場合の想定訓練を行う。		
③	基礎介護力と知識を深めケアの質を向上する。	・年間予定に沿って適正な人員配置になるよう計画。実施する。 ・基礎介護力、医療知識等オンライン研修を積極的に行う。		
④	特養の課題を解決する仕組みを作る。	・委員会の目標を明確にし計画に沿った課題解決を図る。 ・係長・主任・リーダー等フロア会議で検討し解決できるようにする。		

《台東区立特別養護老人ホーム台東》

〈令和 5 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	短期入所生活介護 安定した事業運営のため適正収益 として目標利用率 85%を目指す。	・新規獲得のため定期的にショー ト通信・空き状況等送付する。 ・利用者担当介護支援専門員との 良好な関係を築く。		
⑥	職員が共通認識を持ち統一したケ アを行う。	・利用中の変化は的確に家族・担当 ケアマネジャー等と連携し情報共 有を図り、ケア変更等の際は他職 種職員、全体周知を徹底する。 ・既存のマニュアルを見直し点検・ 改善を行う。(会議等活用)		
⑦	新型コロナウイルスの感染症拡大 防止に努め、サービスの利用・提供 を行う。	・感染予防に徹底した支援に努め る。家族・担当介護支援専門員との 情報共有を図り、体調面の把握を行 いながら、安心したショートステイ の利用・サービスの提供を行う。		

【台東部門】

《台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター 一般》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	利用率 35%を目標にした運営を行う。	・居宅介護支援事業所への積極的な連絡を行い、空き状況等の情報提供を密に行い利用率向上に努める。		
②	職員一人ひとりの専門性を高め、介護の意義や目的を理解した上でケアを提供することにより、サービスの質の向上を図る。	・計画的な研修の実施やケアカンファレンス（毎月）での利用者個々のケアの確認に加え、介護に対する学びの場を設ける。		
③	人材育成として、職員のスキルアップ、洞察力、見守り力の向上を図る。	・必須研修及び状況に応じた適時適切な内部研修を行うとともに、外部研修にも積極的に参加をする。		
④	新型コロナウイルス感染防止に努めコロナ禍前のサービスを再開していく。	・感染予防に徹底した支援に努める。家族・担当介護支援専門員との情報共有を図り、体調面の把握を行いながら、安心したショートステイの利用・サービスの提供を行う。		

【台東部門】

《台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター 認知》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	利用率 60%を目標に安定した運営を図る。	・居宅介護支援事業所への積極な連絡を行い、空き状況、活動を紹介し利用率向上を目指す。		
②	利用者の特性に合わせたサービス支援を行う。	・職員の認知症ケアの知識向上と関係機関との連携を図り専門性ある支援を行う。		
③	職員の専門的知識の向上を図り、チームケアの向上を目指す。	・ケアの基本を学び直し、専門性の高い統一したケアを職員一人ひとりが実践しサービスの質を高め、利用者満足へ繋げていく。		
④	新型コロナウイルス感染防止に努めコロナ禍前のサービスを再開していく。	・新型コロナウイルス感染防止対策として手指消毒、体調管理、3密防止等を徹底、継続しつつ、ウィズコロナを前提に活動を工夫し実践していく。		

【台東部門】

《たいとう地域包括支援センター》

〈令和5年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域包括ケアシステムを実現するため、たいとう地域包括支援センターの周知・普及啓発活動を強化する。	・台東区民、見守り団体へ広報誌の発行（年2回、各450部）および町内会等へ出前講座（成年後見制度を含む）を年4回行い、相談しやすい包括支援センターを目指す。		
②	認知症カフェの事業内容見直しを予定している為、令和6年度からたいとう包括が主体となって、認知症カフェが毎月開催できるように準備していく。	・地域アセスメント（開催場所・会場等）のため毎月1回打ち合わせをし、認知症カフェの店舗探しを行う。3店舗以上候補をあげ、場所、曜日、時間を固定して区民が認知症カフェに気軽に参加ができる体制を作っていく。		
③	居宅介護支援事業所の介護支援専門員が包括的・継続的ケアマネジメントの実践が出来るよう環境整備を行うと共に介護支援専門員へのサポートを行う。	・適切なケアマネジメント手法が行われているか、年2回（9月・3月）主任ケアマネを中心としてケアプラン点検を実施。改善が必要な事業所に対しては区と協議し、事業所を訪問しアドバイスをを行う。		